

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	大腿骨近位部骨折における骨粗しょう症サルコペニアが歩行機能に与える影響
研究責任者 (共同研究者)	請川 諒 所属：津軽保健生活協同組合健生病院リハビリテーション科 (木村宗一郎 阿部祐紀 兼平弘毅)
研究目的と意義	骨密度が低下し、骨が弱くなることで骨折しやすくなる病態である骨粗しょう症と全身の筋肉量および筋力が低下した状態であるサルコペニアを合併した骨粗しょう症サルコペニアは死亡リスクとの関連が報告されていますが、歩行機能との関連の報告は少ないです。そのため本研究は骨粗しょう症とサルコペニアを合併した病態である骨粗しょう症サルコペニアが歩行機能にどのような影響を与えるかを明らかにすることです。
調査対象となる方 (該当期間)	2024 年 12 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に、当院整形外科病棟に大腿骨近位部骨折の診断で入院し、手術を行った患者を対象とします。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 基礎情報：年齢、性別、主診断名、入院日・退院日、手術日、リハビリテーション処方日・起算日、入院前住居・退院先 医学的情報：併存疾患（チャールソン併存疾患指数）、ボディマス指数、機能的自立度評価法 リハビリテーション関連情報：握力、下腿周径、入院時・退院時機能的自立度評価法、クリニカルフレイルティスケール、簡易認知テスト
研究期間	倫理委員会（2026 年 1 月 9 日）より 1 年間
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報（イニシャル、生年月日、当院 ID など）は削除します。また、研究成果は和文誌で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	この研究に関して新たに患者さんにいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：請川 諒 電話番号：0172-55-7717
備考	